



# 京都市で進める 地域ぐるみの教育と学校運営協議会

～学校を核とした“人育ち”コミュニティ  
の実現に向けて～

2013/12/6

京都市教育委員会  
教育長 生田義久

# 京都市の教育改革

- ◇ すべての学校の教育力を高める
  - 地域ぐるみ・市民ぐるみで
  - 普遍性を持った改革
  
- ◇ 教師・学校が、**意識改革・行動改革**を徹底し、やらなければならないことを最大限やり切る。
  - ※「一人一人の子供を徹底的に大切にする」教育の伝統
  - 同時に、家庭、地域、大学、産業界等の積極的な参画を得て、**地域ぐるみの教育**を推進。
  
- ◇ キーワードは、「**参画**」「**協働**」
  - 京都の強味である地域力を生かす
  - ※「**竈金の精神**」 ～地域の子供は地域で育てる～

# なぜ地域ぐるみの教育なのか？

## (1) 子供の課題解決のために

◇ 教育の最大の課題は、「**二つの乖離**」

① 学校での学びと家庭・社会生活との乖離

② 学校での学びと社会に出て生きて働く力との乖離

◇ 子供の学びのフィールドを地域・社会に広げる

※ まち全体を子供の学びと育ちの場に！

大人すべてが先生に！

## (2) 大人も、地域も、共に学び高まるために

◇ 「学校を核とした人育ちコミュニティ」の創出

# 地域ぐるみの教育とは？

## <基本姿勢>

- ① 学校と家庭・地域が批判しあうのではなく、足りないところを補い合い、互いに高めあう**双方向の信頼関係**の構築
- ② 子供を共に育む**当事者意識**の醸成
- ③ 子どもを真ん中に、**情報・課題意識を共有し、行動を共有。評価・成果も共有し、更なる改善へ。** ~人づくり共有サイクルの確立~

## <開かれた学校づくり> ~学校の閉鎖性を打破、全校でやり切る~

- ① **「学校を知ってください」** 学校便りの地域回覧、地域版作成、全校HP
- ② **「学校へ来て下さい」** 自由参観の設定(5日連続、始業から終業まで)
- ③ **「学校に知恵、力を貸してください」**
  - ・ 学校支援ボランティア(全市で約3万人)
  - ・ 102大学と協定締結。共同研究、2,000人の学生ボランティア
- ④ **「地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域から学ぶ」**
  - ・ 総合学習、生き方探究チャレンジ体験事業(H12~)

# 学校運営協議会 ～平成の番組小学校づくり～

- ◇ 双方向の信頼関係づくりのためには仕組づくりが鍵
  - ・ 学校評議員(H13全校)、学校運営協議会、学校評価(H15全校) 等を積極的に展開
- ◇ 学校運営協議会
  - ・ H14 新しいタイプの学校運営研究 開始
  - ・ H16 学校運営協議会設置 3校から
  - ・ H25.11 月末現在 204校園指定 **<全国最多>**

校種	京都市の指定校数	比率
幼稚園	10園	62.5%
小学校	150校	89.3%
中学校	37校	50.7%
総合支援学校	7校	100.0%
合計	204校・園	74.7%

# 京都市方式の学校運営協議会

- ◇ 学校運営の良き「**ご意見番**」であり、「**応援団**」
  - ※ **企画推進委員会の設置を可能に**  
(理事会と企画推進委員会が車の両輪に)
  - ※ **当初から、学校支援地域本部の機能を併せ持った制度設計**
- ◇ 校長裁量により、設置申請。**公募委員**も導入。  
児童生徒の意見を聴くことも可能に。
- ◇ 学校運営協議会と校長の関係を明確化  
(校長のリーダーシップ)
- ◇ 学校の自律性を高めるため、「**学校裁量**」を**拡大**(全市)。
  - ※ **学校運営協議会指定校には、教員公募制(組織内募)を可能に。**
- ◇ 学校運営協議会が主体となって**学校関係者評価**を実施
- ◇ 学識経験者等による第三者機関(専門委員会)の設置



“**ほんまもの**”のコミュニティスクール

## 学校運営協議会の成果

① 学校教育動支援が図られた	89.5%
② 保護者・地域の学校への理解が深まった	79.0%
③ 地域人材の確保が図られた	77.7%
④ 学校、家庭、地域の連携が深まった	76.5%
⑤ 学校評価の充実が図られた	53.1%
⑥ 地域が活性化した	22.8%
⑦ 地域・保護者の意識の変容や地域にまとまりができた	22.8%
⑧ 子供に変容が見られた	21.0%

(162校 複数回答可)

## 更なる進展に向けて

### ◇学校運営協議会導入に当たっての留意点

- 目的の共有（**子供の姿を変える**） ←課題意識の共有から
- 保護者・地域・学校の**一方通行ではない参画意識の高まり**。
  - ・学校支援活動を通して、成就感、達成感を共有し、さらなる学校理解へ
  - ・あらゆる情報を公開し、解決に共に取り組もうという学校・教職員の姿
- 学校運営協議会は、学校と地域の関係づくりのための一つの仕組。  
学校と地域を結ぶ**地道で日常的、総合的な取組**が不可欠。

### ◇小中一貫教育など校種間連携を縦軸に、学校運営協議会など地域ぐるみの教育を横軸に、子供を育む。

～中学校区を単位とした「人育ちコミュニティ」の構築～

「子どもを共に育む京都市民憲章」の推進